

看護学科 2年 前期 総合科目

1. 人権論
2. 英語コミュニケーション
3. カウンセリング

看護学科

科目名: 人権論			担当教員 氏名: 後藤 亜季、鷹西 恒 とりまとめ 中田			
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	2年次	前期	総合科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			専門的知識・経験を生かして授業している。			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
医療・福祉の現場において患者・利用者・家族の人権を保障することは看護師としての使命の第一であり、基本です。この授業では身近な事例から人権問題を学び、私たちが取り組むべき課題について考えます。					<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権 ・自己決定権 ・居住の権利 ・生存権 ・子どもの権利 ・アドボガシー ・多様性 	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			基本的人権の意義を理解する。人権確立のための先人の努力を理解する。差別されている人びとのニーズを理解する。			
B 専門的技術			差別されている人や配慮が必要な人びとのニーズを受けとめ共感し保障できる。			
C 論理的思考力			人間の尊厳の意義を理解し論理的に説明できる。			
F チームワーク・リーダーシップ			人間の尊厳の意義を理解し論理的に説明できる。			
G 倫理観			基本的人権の観点から善いことを倫理的に考察し行動できるように努める。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %	レポート: 40 %	発表: %	実技試験: %	その他: 20 %		
特記事項:【その他】については、小テスト、講義へ積極的参加(出席及び講義内発言等)で評価する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 中間レポートに代えて毎回リアクションペーパーを課す。最終試験は別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートは解説を行い、試験については採点して返却する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①【後藤】ガイダンス(中田) 人権思想の発展						
②【後藤】 日本国憲法			【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分		
③【後藤】 基本的人権の尊重1			【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分		
④【後藤】 基本的人権の尊重2			【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分		
⑤【後藤】 子どもの人権			【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分		
⑥【後藤】 自己決定権			【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分		
⑦【後藤】 医療と自己決定権			【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分		
⑧【後藤】 セクシャリティと自己決定権			【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分		
⑨【鷹西】 過疎高齢社会と地域コミュニティ			【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分		
⑩【鷹西】 居住福祉			【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分		
⑪【鷹西】 生活弱者と居住の権利			【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分		
⑫【鷹西】 生活弱者と生存権			【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分		
⑬【鷹西】 差別と人権			【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分		
⑭【鷹西】 セクハラ・名誉毀損・いじめと人権問題			【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分		
⑮【鷹西】 多様な考え方や価値観について			【予習】配布された資料等を読む 【復習】	【予習】120分 【復習】120分		
⑯試験						
上記の順番は外部講師等の都合により変更することがある。						
使用テキスト: 特定のテキストは使用しない。適宜プリントを配布する。				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): この講義を通して、基本的人権について自分のことばで説明できるようになってください。						

看護学科

科目名: 英語コミュニケーション			担当教員 氏名: 齋藤 ティム		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次 前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: A native Japanese and native English speaker will coordinate in this subject to deliver essential understandings in L1 and additional, contextual practice with a pragmatic focus in L2.					
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード
This specialized English course is designed to establish foundational communicative abilities for students in nursing and social welfare fields. The emphasis is on practical English usage that might assist those interacting with foreigners in healthcare and welfare settings. The course focuses on role-play and opportunities to produce output. By the end of the course, participants will have practiced communicating in English, enabling them to have basic interactions with the growing foreign workforce in Japan.					Productive Communication Practical Usage Role-Play Language Confidence Building
授業における学修の到達目標					
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)					
A 知識・理解力		English core concepts will be applied to topics like small talk, time setting, simple questioning, and giving advice, enhancing students' ability to express themselves and understand others effectively.			
F チームワーク・リーダーシップ		Small groups are integral in facilitating understanding, expressing personal perspectives on select topics, and reflecting on subject-specific content .			
H コミュニケーション力		Communicating clearly is important whether you are communicating with your boss, a colleague, a teacher, or a friend. In language learning unclear, vague communication can lead to misunderstandings. This course will address contextually appropriate tone and register for communication.			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 40 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 60 %	
特記事項: Studying a language often at regular intervals helps to overcome the forgetting curve by revising and recycling the language. Students should keep the language material fresh in their mind by attending classes regularly, completing assignments and undertaking independent study.					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学修 <u>ディスカッション</u> 、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テストとインタビューを行う。授業の進捗状況は、クラスの進み具合を踏まえ、フレキシブルに対応する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストとインタビューのフィードバックは、個別に指導する。					
授 業 計 画			準備学修(予習・復習等)		
			学修内容	学修に必要な時間(分)	
① Making Smalltalk: Short exchanges with strangers.			対象Unitの予習・復習	90分	
② Using Numbers and Measurements: Understanding and using numbers, especially in the context of time, dosages, and measurements.			対象Unitの予習・復習	90分	
③ Explaining Time: Setting appointments, agreeing on a time and place.			対象Unitの予習・復習	90分	
④ Describing Condition: Using basic vocabulary to describe how someone feels.			対象Unitの予習・復習	90分	
⑤ Simple Questioning: Asking straightforward questions about health, comfort, etc.			対象Unitの予習・復習	90分	
⑥ Responding to Basic Needs: Understanding and responding to requests for assistance.			対象Unitの予習・復習	90分	
⑦ Describing Problems: Using basic terms to express problems or issues.			対象Unitの予習・復習	90分	
⑧ Explaining Simple Procedures: Communicating information in sequence.			対象Unitの予習・復習	90分	
⑨ Basic Task Directions: Giving simple instructions.			対象Unitの予習・復習	90分	
⑩ Confirming Understanding: Checking and ensuring that information is understood.			対象Unitの予習・復習	90分	
⑪ Manners: Offering and accepting apologies.			対象Unitの予習・復習	90分	
⑫ Describing People and Places: Using simple language to describe people, rooms, or locations.			対象Unitの予習・復習	90分	
⑬ Describing Routines: Simple ways to describe routines.			対象Unitの予習・復習	90分	
⑭ Giving Advice: Making suggestions with modal verbs.			対象Unitの予習・復習	90分	
⑮ Final Review			全体の復習	90分	
使用テキスト:			その他参考文献など: DMM英会話利用契約(2024年4月~7月)(必須)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): Don't get discouraged, learning a new language takes time and effort but it is a rewarding journey. Keep up the good work, and remember to study often at regular intervals to make the most progress.					

看護学科

科目名: カウンセリング			担当教員 氏名: 石津 孝治		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	前期	総合科目	演習	選択
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 臨床心理士としての心理臨床経験に基づき、事例を提示し、事例検討を行うことにより、理解を深める。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
本科目は、カウンセリングの理論と技法の基礎、そしてカウンセリングのプロセスについて扱う。精神分析やクライアント中心療法、行動療法といった、主要な学派の理論と技法について概説した後、事例検討を多く取り入れることによってカウンセリングプロセスについて学ぶとともに、知識を深める。					カウンセリングの理論 ・関係性 ・事例検討
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 5. 6. 7.		
A 知識・理解力		カウンセリングの理論と技法に関する基礎的概念を理解する			
C 論理的思考力		理論がカウンセリングプロセスでどのように生かされるかについてイメージを持てる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 100 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ダイアログ グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時で試験を実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストを採点し返却					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①来談者中心カウンセリングの理論と技法に関する知識を習得する			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
②来談者中心カウンセリングが重視する、共感、受容の本質について焦点を当て、事例を用いて理解を深める			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
③事例検討1(PTSDの治療例を素材とし、心的外傷の援助について学ぶ)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
④精神分析的カウンセリング(精神分析的人格論、発達論、技法論に関する知識を習得する)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑤プレイセラピーの理論と技法について学ぶ			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑥事例検討2(子どものプレイセラピー実践例を素材とし、子どもの援助に必要な知識、態度について学ぶ)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑦前半のまとめ			予習。①～⑥までの内容の理解を確認する。	予習30分	
⑧心理学的検査法(投影法による人格検査を実体験し、その方法と意義を学ぶ)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑨事例検討3(うつ病の治療例を素材とし、うつ病者に対する援助方法について学ぶ)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑩事例検討4(子どものプレイセラピーと箱庭を併用した実践例について学ぶ)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑪コラージュ療法体験			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑫事例検討5(被虐待児とその母親に対する心理治療例を素材とし、被虐待児と母親の援助について学ぶ)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑬事例検討6(行動化を伴ったうつ症状を呈する心理治療例を素材とし、行動化の意味と対応について学ぶ)			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑭児童養護施設児童の心理的援助について学ぶ			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑮全体のまとめ カウンセリングの本質について			復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
使用テキスト:			その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本格的な事例の分析を扱います。事例から学ぶ姿勢を大切にしてください。					